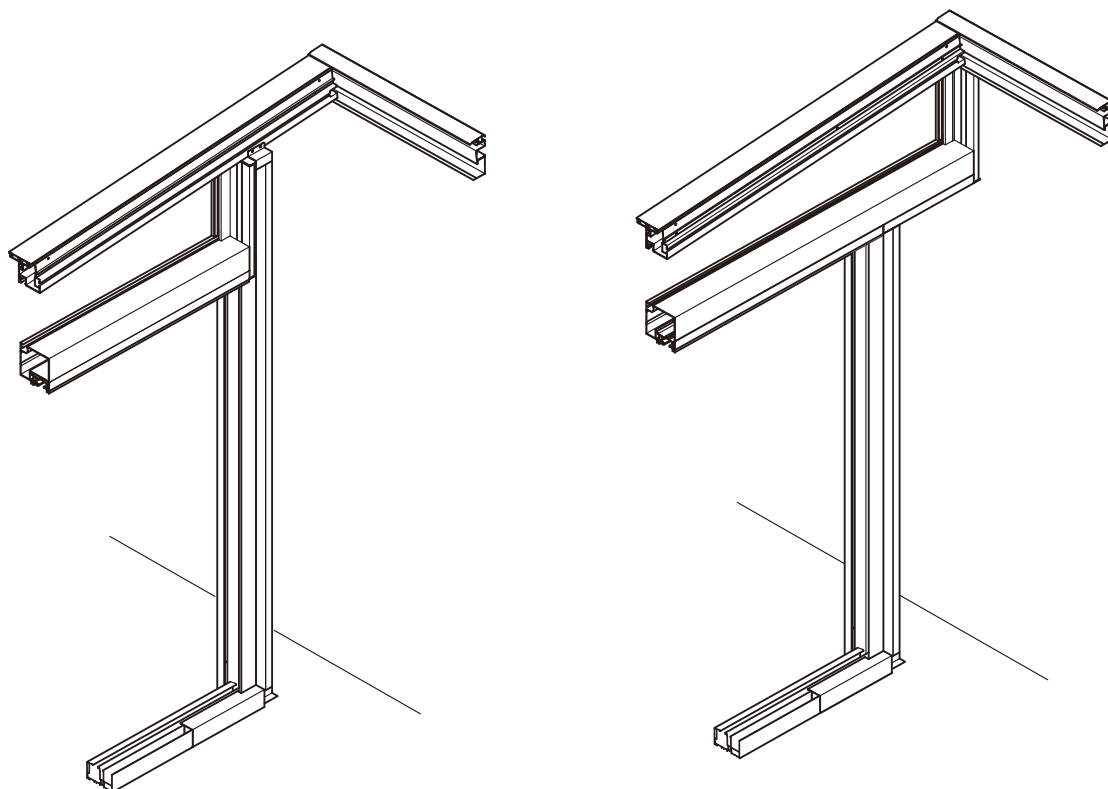


エクシオール ジーマ 移動方立

このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためにも、各種表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容および指示にしたがってください。



■本書の見かた

この取付説明書では、以下のような記号、記載、アイコンを使用しています。

安全に関する記号と説明

- 警告** : 取扱いを誤った場合に使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示します。
- 注意** : 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示します。

情報に関する記号と説明

- お願い** : 注意点や不具合を防ぐ上で確認して頂きたいこと、推奨される方法などを示します。
- Pポイント** : 説明の内容および部品などに関して知っておくと便利なことや、取付作業中における確認方法などを示します。

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

<施工の前に>

⚠ 注意

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- 本製品は躯体付け専用のため、構造材にかならず止めてください。躯体位置がわからない場合、および躯体が強度保持できない場合は、取付けないでください。
- 屋根材へ接触する部品へシリコンシーリング材を使用する場合は、ポリカーボネート板のひび割れ等のおそれがありますので、当社指定の脱アルコール系シーリング材を現場で手配してください。

シーリングメーカー	品名および品番
信越化学工業(株)	シーラント72
モメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ・ジャパン(合)	トスシール380
東レ・ダウコーニング・シリコン(株)	SE960

🧑 お願い

- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
- 当社指定の付属品以外は取付けないでください。
- 移動方立は必ず「エクシオールジーマ 本体編 取付説明書(E430)」または「エクシオールジーマ 軒プラス編 取付説明書(E433)」、「エクシオールジーマ 軒プラスF編 取付説明書(E441)」、「エクシオールジーマ 軒プラスFL / FR / FRL編 取付説明書(E440)」と同時に施工してください。本体完成後に移動方立を取付けることはできません。

<施工上のご注意>

⚠ 注意

- ネジは弊社純正品の規定本数を使い、下記締付けトルクで固定した後にゆりみ・ガタツキがないか確認してください。製品の強度低下、またはケガの原因になります。
・φ4ネジ : 2.5N・m±0.5N・m (25±5kgf・cm)
- アルミ製品が異種金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- 製品の改造は絶対にしないでください。
- 施工終了後は、ネジなどにゆりみがないか確認してください。

🧑 お願い

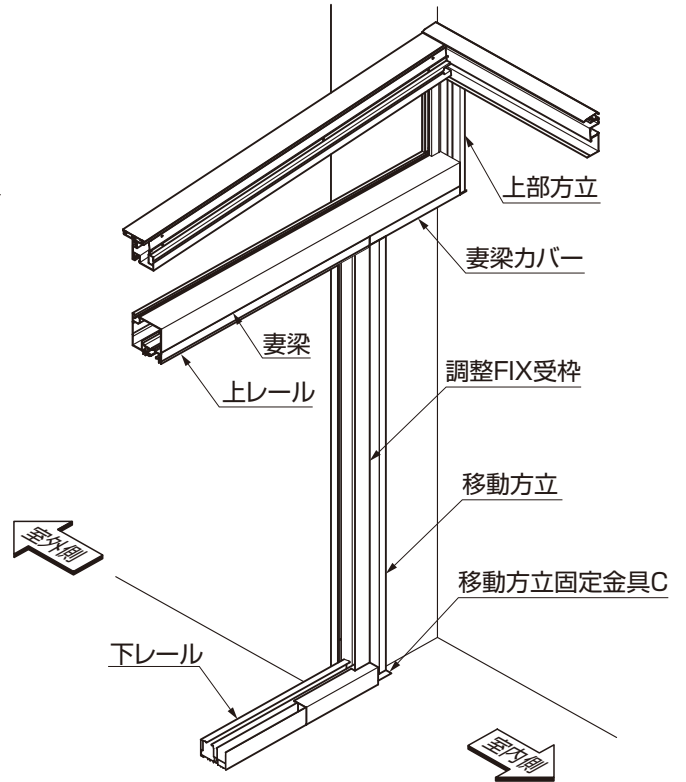
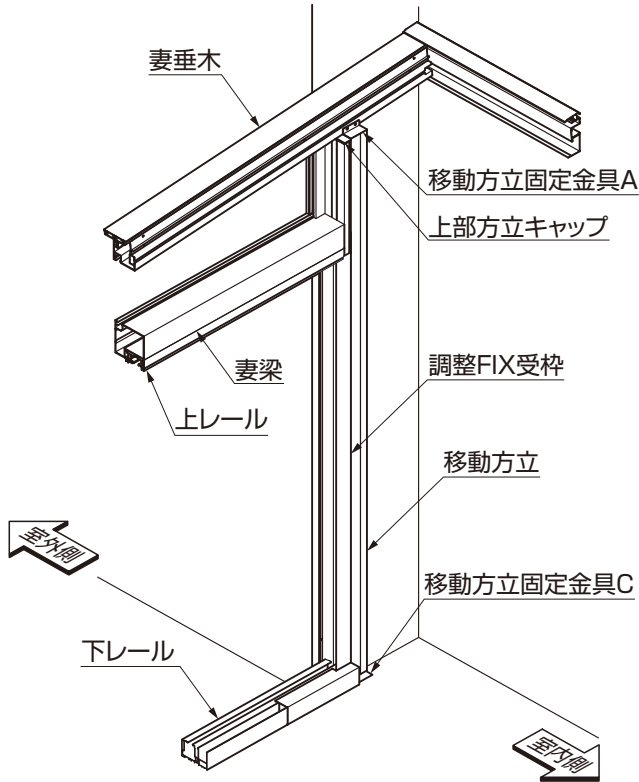
- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
 - ・作業服および保護具(保護帽、安全帯、眼、耳、手、足の保護具)を正しく使用してください。
 - ・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
 - ・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
 - ・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。
免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
 - ・作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分確認し、健康管理を実施してください。
 - ・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- 取付説明書の指示通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
- 施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。
- 水平・垂直は正確に出してください。取付けに支障がでるおそれがあります。

1 各部名称

1-1 移動方立を躯体に取付ける場合(部分入隅など)

【妻垂木下納まり】

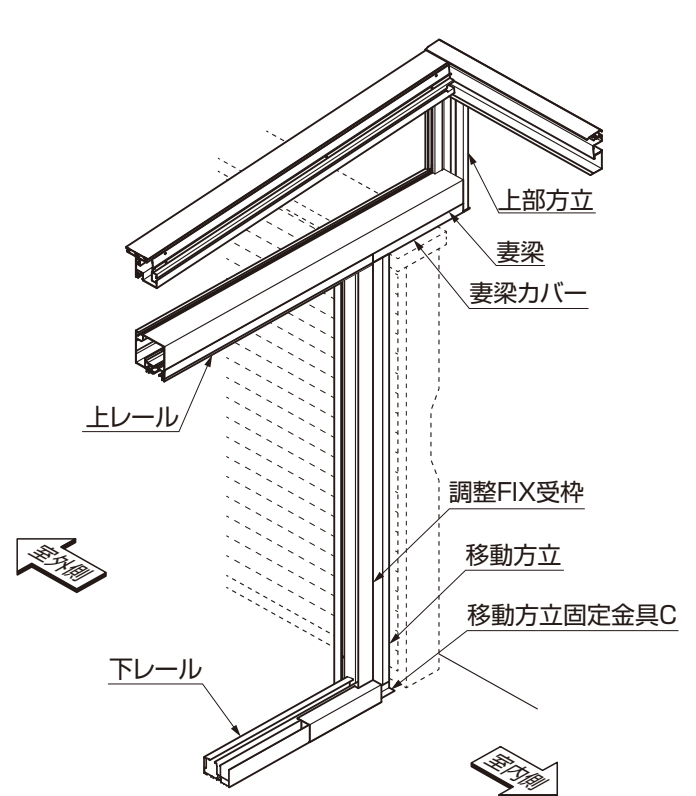
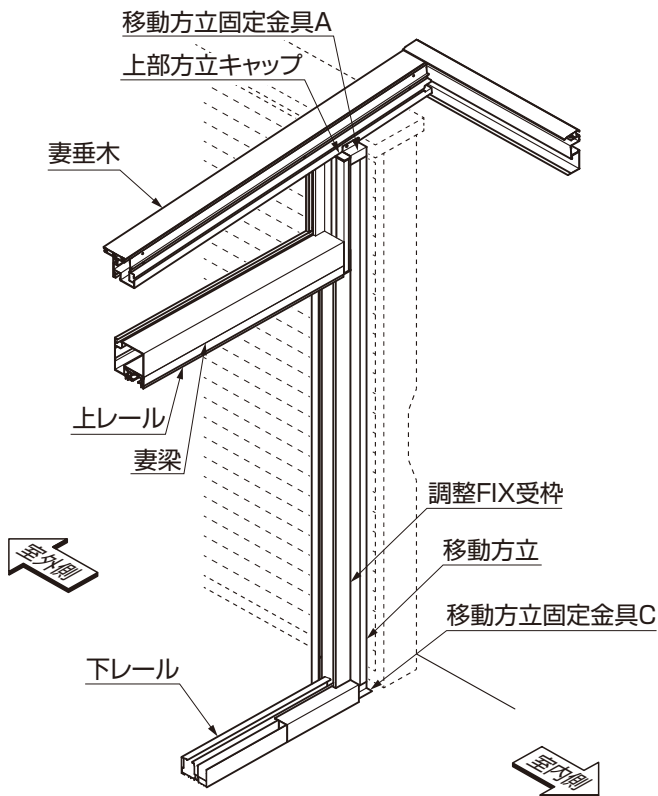
【妻梁下納まり】



1-2 躯体側の障害物を回避する場合(戸袋回避など)

【妻垂木下納まり】

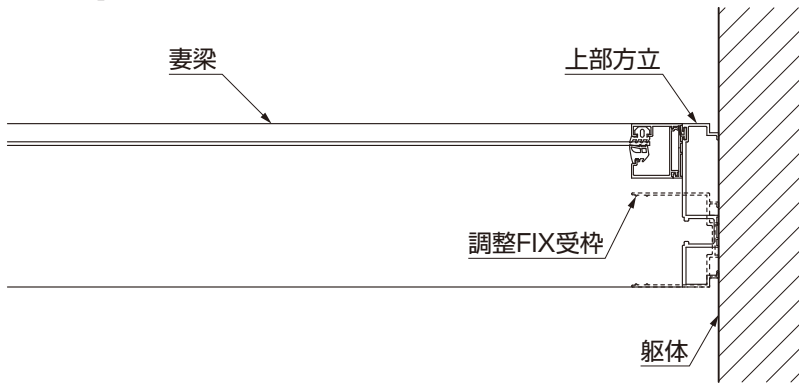
【妻梁下納まり】



2 規格寸法

2-1 妻垂木下納まりの場合

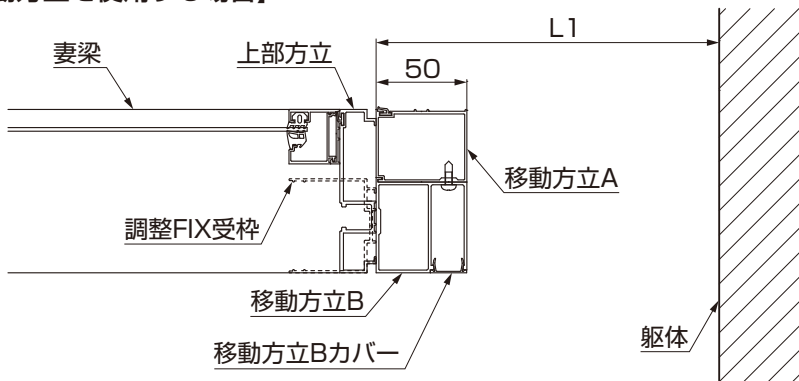
【標準納まり】



Pポイント

- 方立の移動寸法(L1)を採寸してください。

【移動方立を使用する場合】



移動距離寸法(L1)

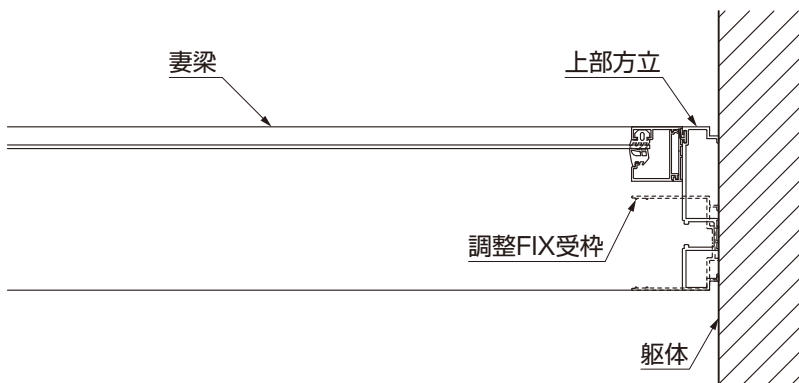
	最小寸法
6尺	86
8尺	86
10尺	86

Pポイント

- 躯体側の障害物を回避する場合の納まりでは、移動方立を障害物から必ず5mm離れた位置になるようL1寸法を決めてください。

2-2 妻梁下納まりの場合

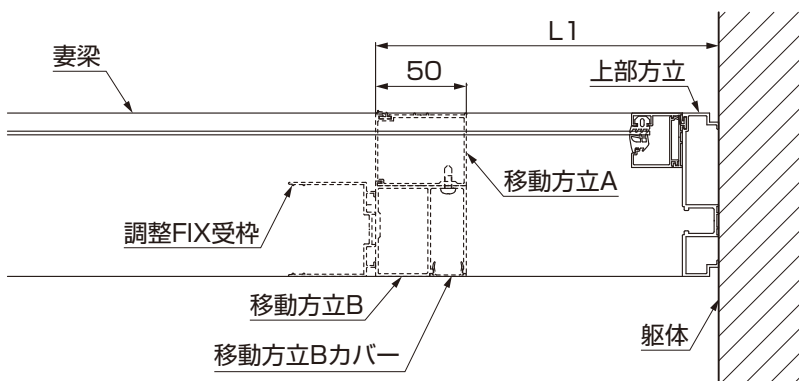
【標準納まり】



Pポイント

- 方立の移動寸法(L1)を採寸してください。

【移動方立を使用する場合】



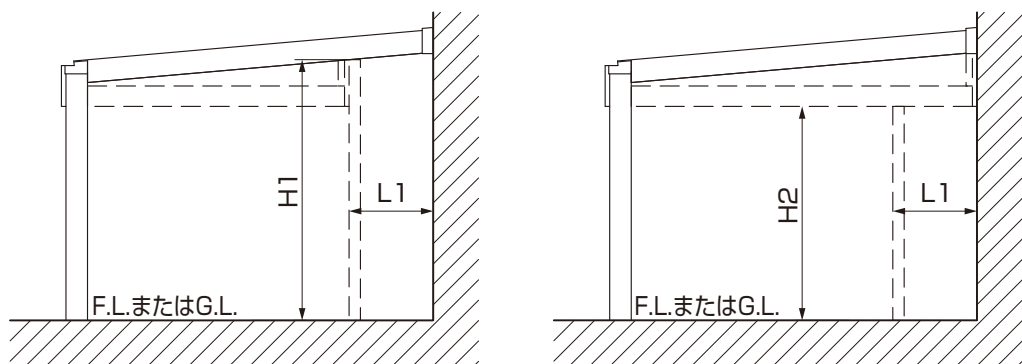
移動距離寸法(L1)

	最小寸法
6尺	86
8尺	86
10尺	86

3 移動方立の加工と組立て

3-1 移動方立の加工

① H1またはH2を実測して、移動方立A、移動方立B、移動方立Bカバーを加工してください。



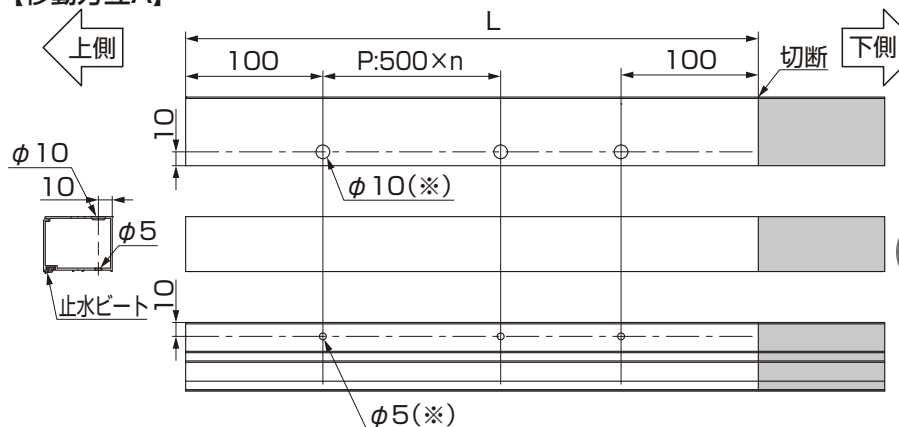
参考H2寸法(規格品)

呼称	H2(外F.L.~妻梁下面)
H21	2100
H23	2300
H25	2500

Pポイント

- 妻垂木下納まりの場合、部分入隅側の「調整FIX受枠」の取付けは移動方立取付け後に行ってください。「妻垂木」「妻垂木化粧材」の取付けを先に行ってください。

【移動方立A】



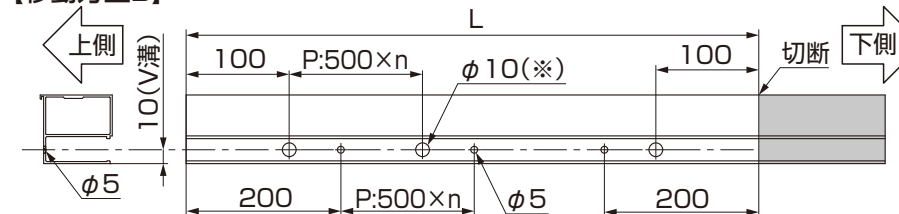
妻垂木下納まりの場合

	埋め込まない	埋め込む
移動方立A	L=H1	L=H1+450
移動方立B	L=H1	L=H1
移動方立Bカバー	L=H1	L=H1

Pポイント

- 躯体側の障害物を回避する場合の納まりでは穴加工は不要です(*)。
- 躯体側の障害物を回避する場合の納まりでは止水ビートは引き抜いてください。

【移動方立B】



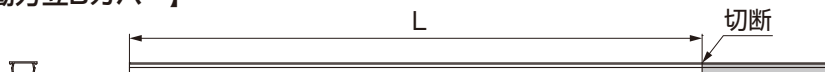
妻梁下納まりの場合

	埋め込まない	埋め込む
移動方立A	L=H2	L=H2+450
移動方立B	L=H2	L=H2
移動方立Bカバー	L=H2	L=H2

Pポイント

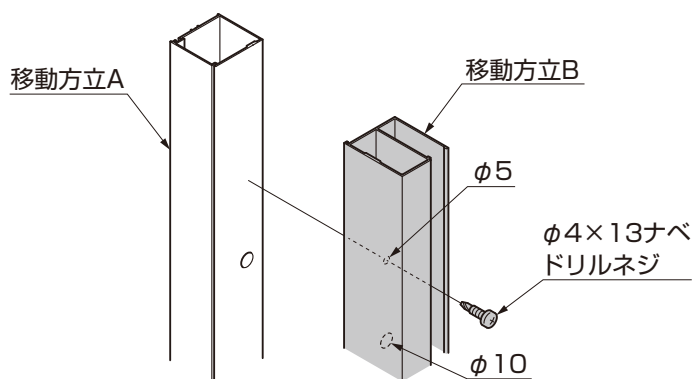
- 躯体側の障害物を回避する場合の納まりではφ10の穴加工は不要です(*)。
- 躯体側の障害物を回避する場合の納まりでは止水ビートは引き抜いてください。

【移動方立Bカバー】



3-2 移動方立の組立て

①移動方立Bを移動方立Aに【ネジ】で取付けてください。



Pポイント

- 移動方立Bは移動方立Aと上位置を合わせて取付けてください。
- 固定はφ5の穴に行なってください。

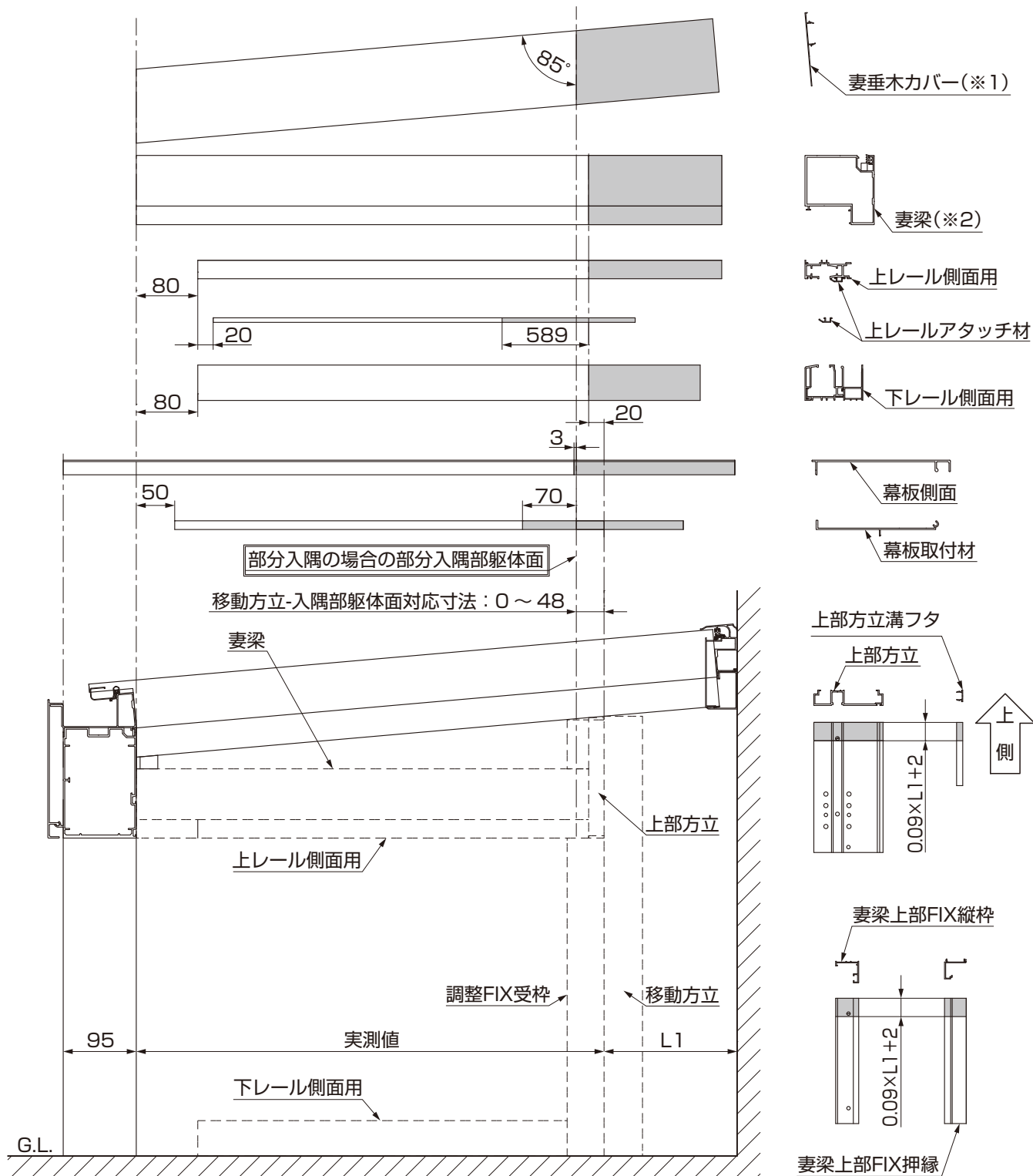
4 妻垂木下納まりの施工

4-1 部材の切詰め

- ① 奥行部材(妻梁、上レール側面用(上レールアタッチ材)、幕板、幕板取付材)を切詰めしてください。
- ② 高さ部材(上部方立、上部方立カバー、妻梁上部FIX縦枠、妻梁上部FIX押縁)を切詰めしてください。

P ポイント

- 躯体側の障害物を回避する場合の納まりでは妻垂木カバーの切断は不要です(※1)。
- 補強材ありの妻梁の場合、補強材は固定ネジを外して引き抜いてから、妻梁と同じ寸法分切詰め、元に戻してください(※2)。
- 部材の加工には向きがあります。奥行部材の切詰めは躯体側から、高さ部材の切詰めは上から行ってください。
- 下レールの切詰めは一次加工です。最終的な長さの確認・切詰めは「エクシオールジーマ 本体編 取付説明書(E430)」または「エクシオールジーマ 軒プラス編 取付説明書(E433)」、「エクシオールジーマ 軒プラスF編 取付説明書(E441)」、「エクシオールジーマ 軒プラスFL / FR / FRL編 取付説明書(E440)」を参照してください。



E427_201705B

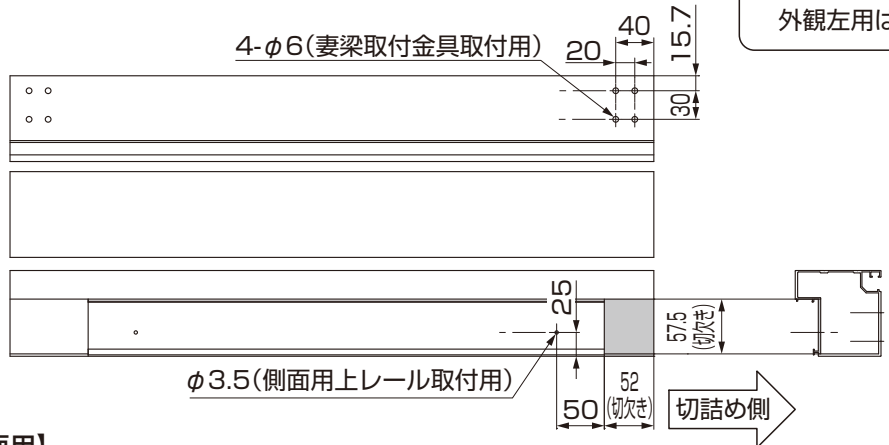
4-2 部材の加工

① 下記を参照し、切詰部へ端部加工をしてください。

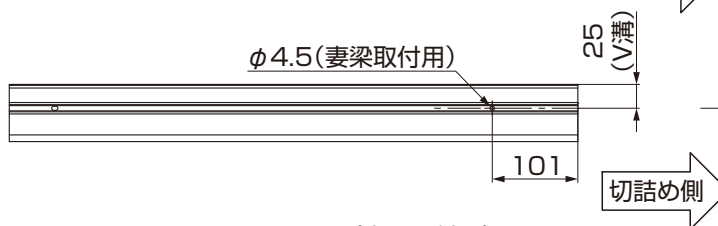
Pポイント

●本図は外観右用です。
外観左用は本図と対称となります。

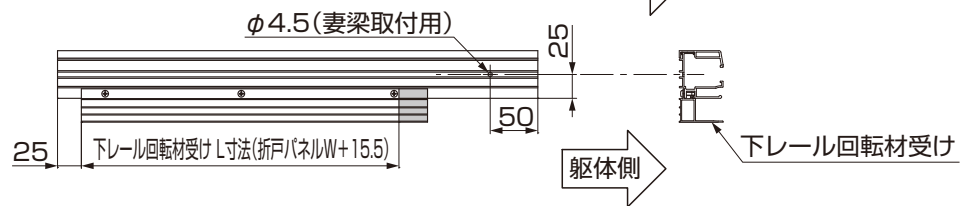
【妻梁】



【上レール側面用】



【下レール側面用】



Pポイント

【下レール回転材受けの切詰め】

●使用する折戸パネルのサイズ・枚数に合わせ、下レール回転材受けを切詰めてください。

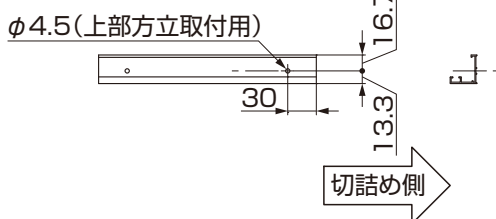
- ① ネジを外し、下レール回転材受けを外してください。
- ② 使用する折戸パネルの種類・枚数を確認し、躯体側から切断してください。
- ③ 下レール回転材受けをネジで取り付けてください。

例)折戸パネル(3) 2折 使用の場合
 $670 \times 2 + 15.5 = 1355.5\text{mm}$

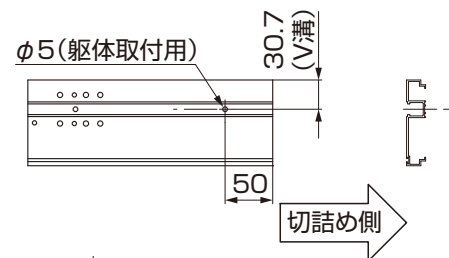
折戸パネルWサイズ

パネル(1)	910
パネル(2)	837
パネル(3)	670

【妻梁上部FIX縦枠】



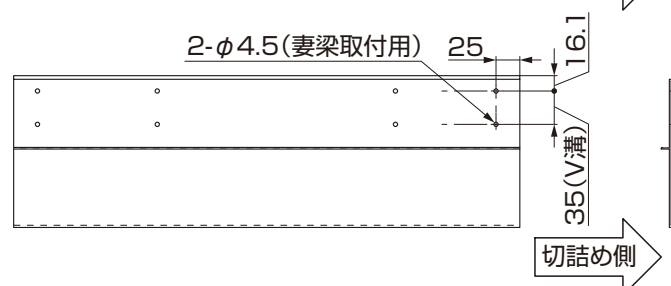
【上部方立】



【幕板 側面】

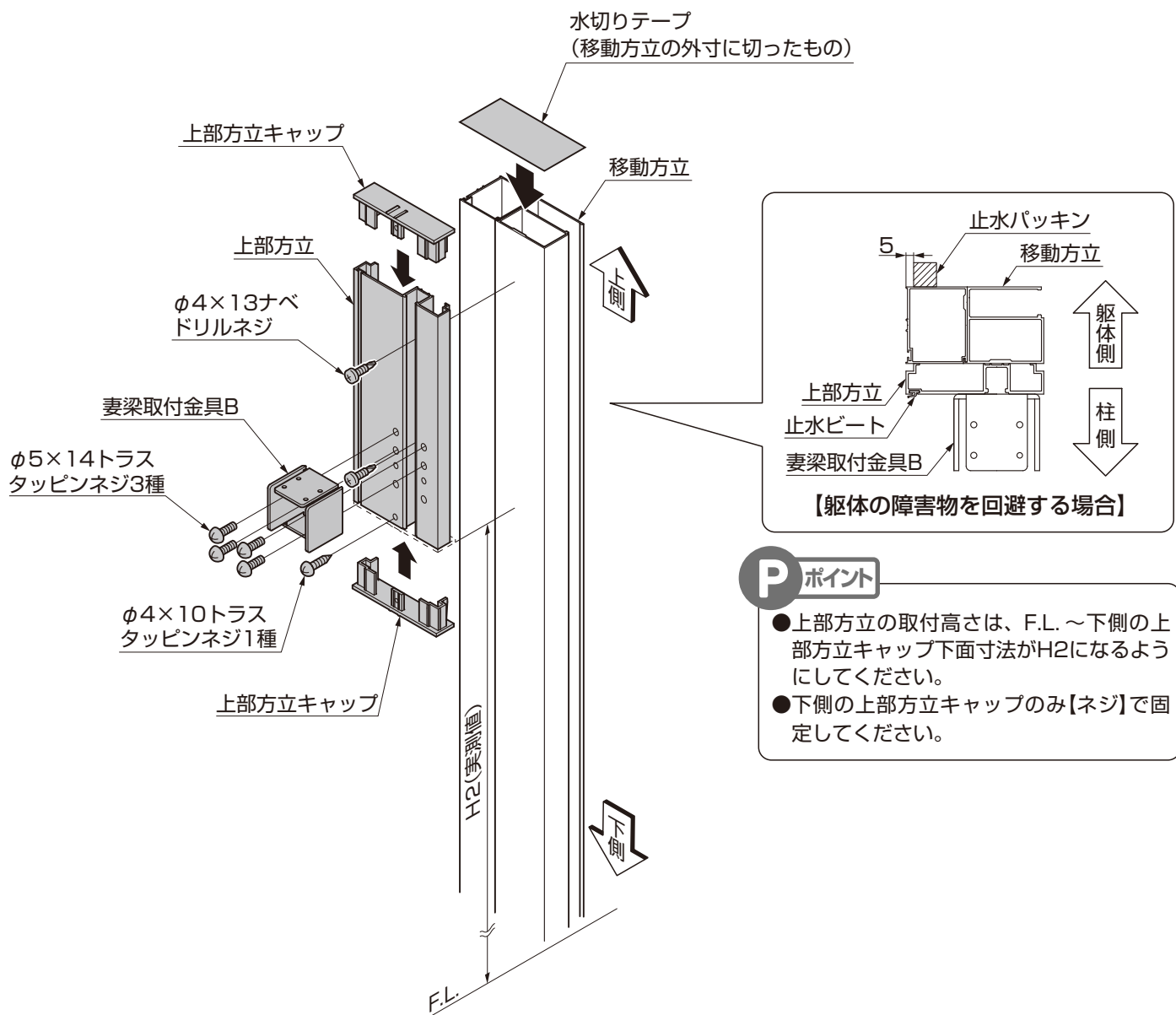


【幕板取付材】



4-3 上部方立の組立て

- ① 上部方立キャップを上部方立にはめ込んでください。(下側のみ【ネジ】で固定)
- ② 上部方立を移動方立に【ネジ】で固定してください。
- ③ 妻梁取付金具Bを上部方立に【ネジ】で取付けてください。
- ④ 移動方立上部に水切りテープを貼付してください。
- ⑤ 躯体の障害物を回避する場合の納まりでは、移動方立の躯体側に止水パッキンを貼付してください。

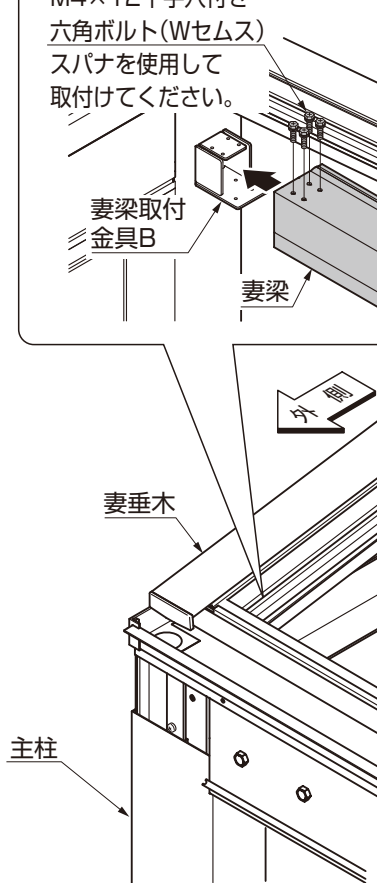
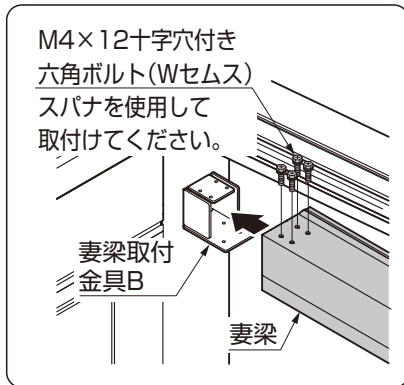
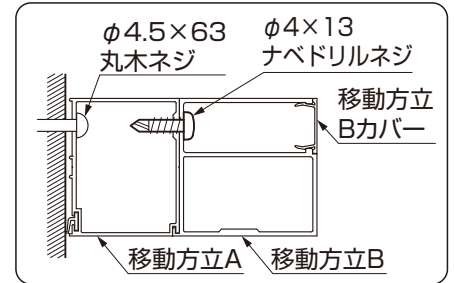


4-4 移動方立の取付け

- ① 移動方立固定金具Cを移動方立および床面に【ネジ】で取付けてください。
- ② 妻梁を、妻梁取付金具A(柱側)に仮置きしてください。
- ③ 移動方立上部を躯体側に傾け、妻梁を妻梁取付金具Bに上からはめ込んだら、移動方立上部を柱側に戻してください。(躯体に固定する場合のみ)
- ④ 妻梁と妻梁取付金具Bを【ネジ】で取付けてください。
- ⑤ 妻梁を妻梁取付金具A(柱側)と妻梁取付金具B(躯体側)に【ネジ】で取付けてください。
- ⑥ 移動方立を躯体構造体に【ネジ】で取付けてください(※)。
- ⑦ 移動方立Bカバーを移動方立Bにはめ込んでください。

注意

- 移動方立Aは必ず躯体構造材に取付けてください。



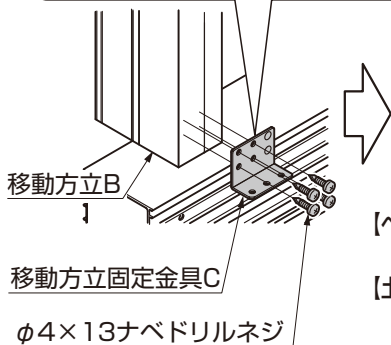
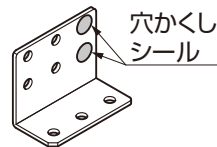
φ4.5×63丸木ネジ
障害物を回避する場合は
使用しません(※)。

妻梁取付
金具B

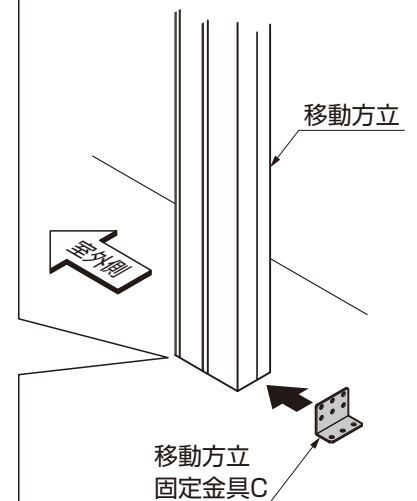
移動方立B
カバー

Pポイント

- 移動方立を埋込む場合は、この手順は不要です。
- この段階では、床への固定は仮止めにしてください。
- 移動方立固定金具Cを取付ける際に、ネジで固定しなかった穴には穴かくしシールを貼付けてください。



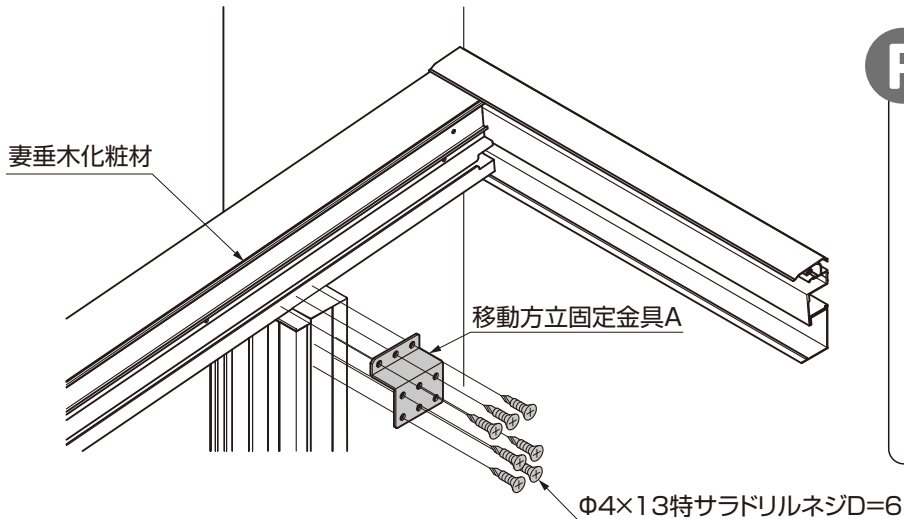
【ベース材へ固定の場合】
φ4×13ナベドリルネジ
【土間へ固定の場合】
φ4×30ナベタッピンネジ
フィッシャープラグ



4-5 仕上げ

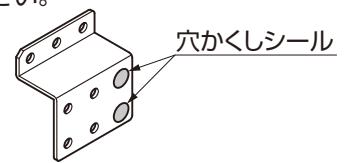
4-5-1 躯体に固定する場合

- ① 移動方立固定金具Aを妻垂木化粧材に【ネジ】で取付けてください。
- ② 「4-4 移動方立の取付け」で仮固定していた移動方立固定金具Cの取付ネジを本締めしてください。



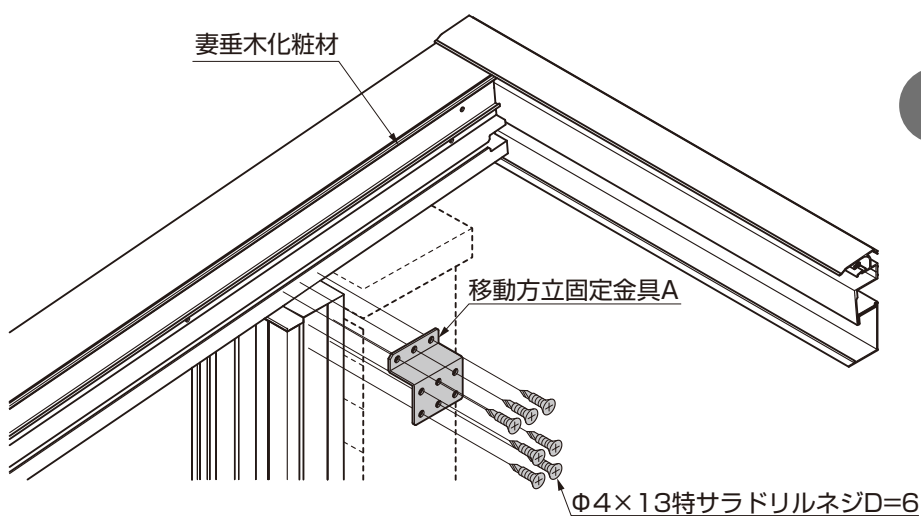
P ポイント

- 移動方立固定金具Aは移動方立の小口を塞ぐように取付けてください。
- 移動方立固定金具Aを取付ける際は、移動方立カバー側には【ネジ】を取付けずに穴かくしシールを貼付けてください。



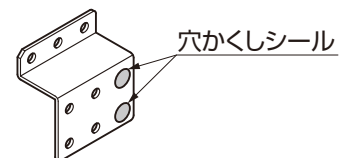
4-5-2 障害物を回避する場合

- ① 移動方立固定金具Aを妻垂木化粧材に【ネジ】で取付けてください。
- ④ 「4-4 移動方立の取付け」で仮固定していた移動方立固定金具Cの取付けネジを本締めしてください。



P ポイント

- 移動方立固定金具Aを取付ける際に、ネジで固定しなかった穴には穴かくしシールを貼付けてください。



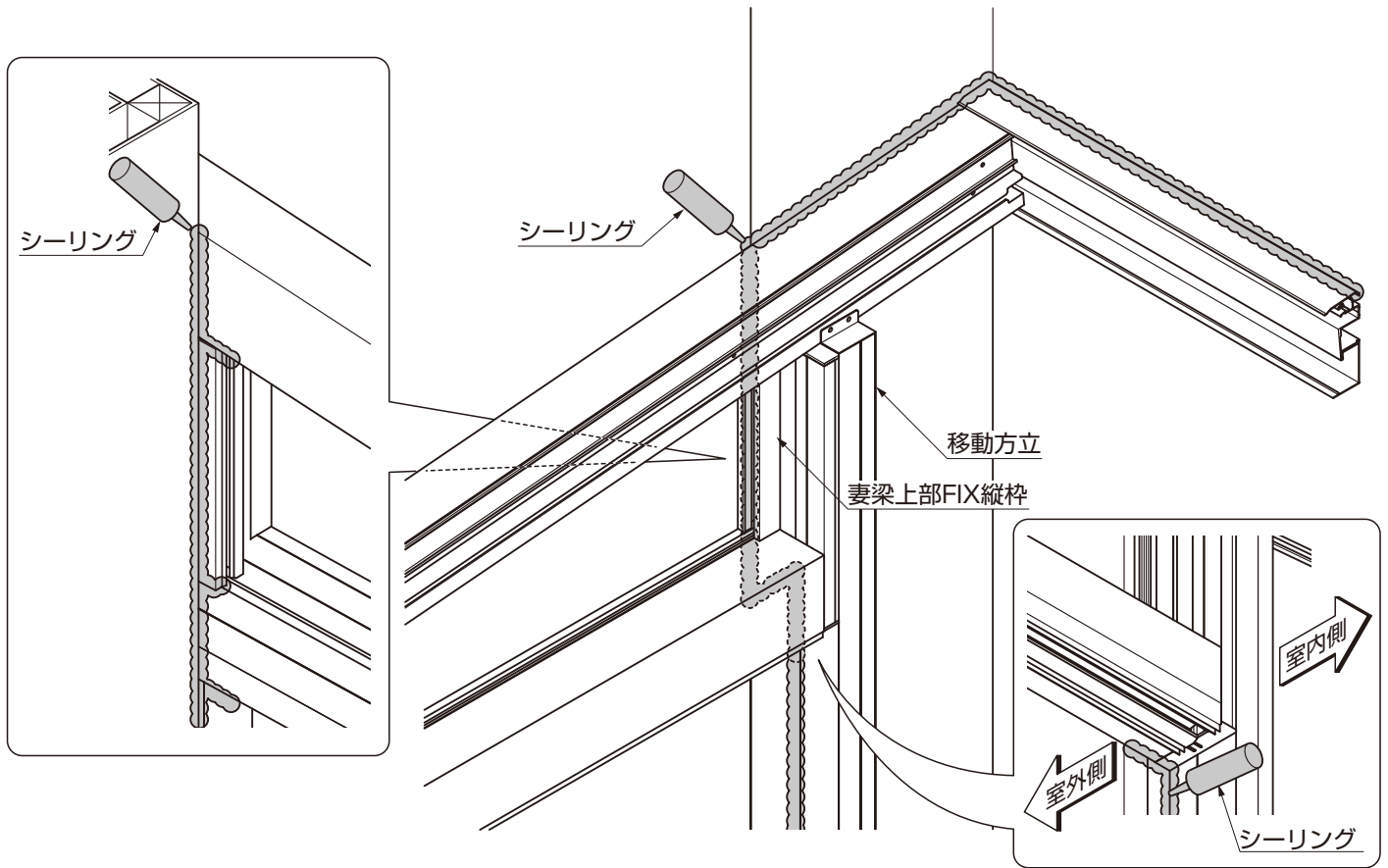
4-5-3 シーリング

(1) 躯体に取付ける場合

① 指定の箇所にシーリングをしてください。

P ポイント

● 指定箇所には必ずシーリングしてください。

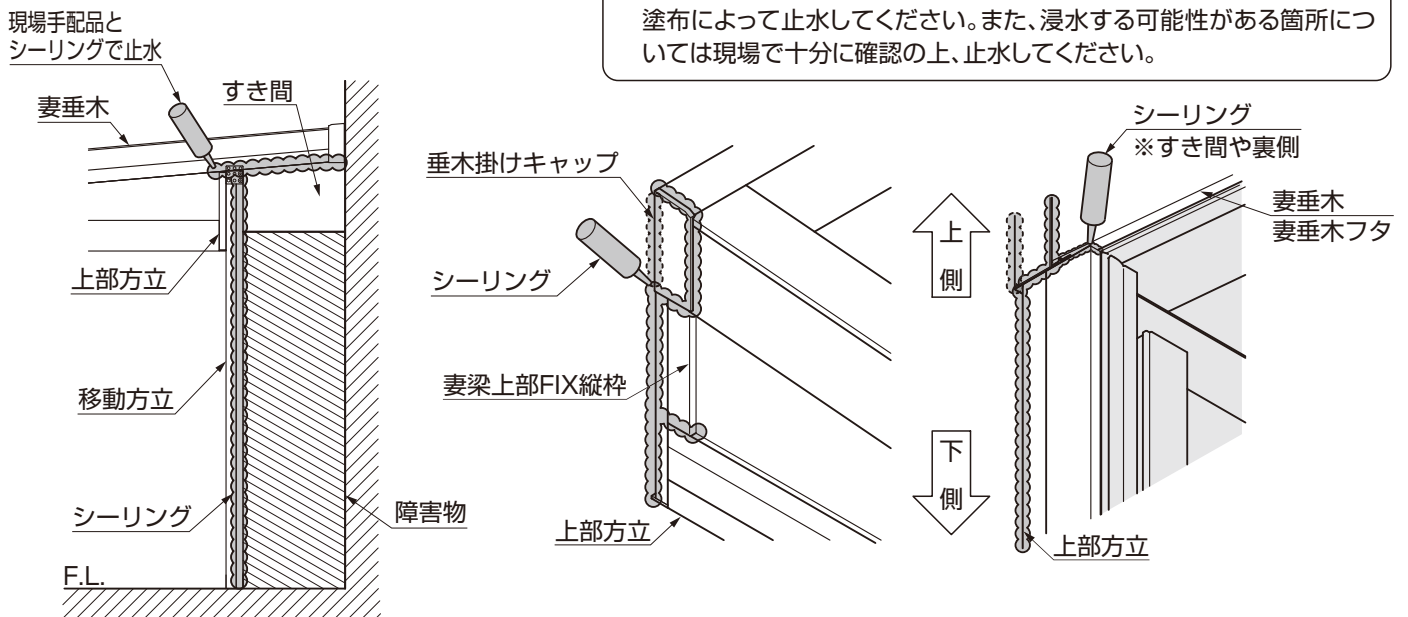


(2) 障害物を回避する場合

① 指定の箇所にシーリングをしてください。

P ポイント

● 妻垂木下部と上部方立、移動方立上部および障害物のすき間、障害物と移動方立や障害物と妻梁の間のすき間は、現場手配品とシーリング塗布によって止水してください。また、浸水する可能性がある箇所については現場で十分に確認の上、止水してください。



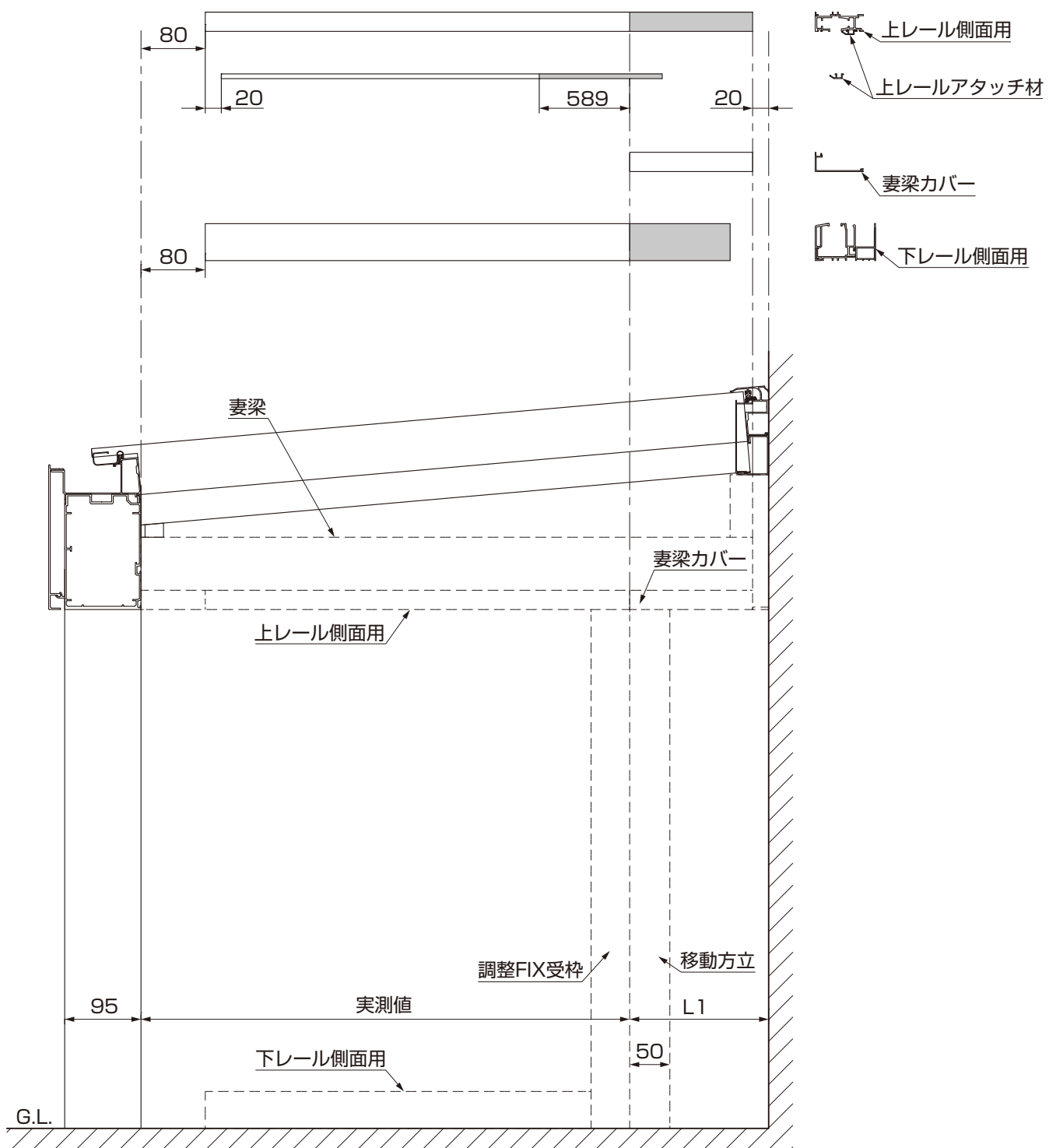
5 妻梁下納まりの場合

5-1 本体部材の切詰め

①上レール側面用(上レールアタッチ材)、妻梁カバーを切詰めしてください。

P ポイント

- 部材の加工には向きがあります。奥行部材の切詰めは躯体側から、高さ部材の切詰めは上から行ってください。
- 切詰め後の端部加工については、「4-2 部材の加工(P.7)」を参照してください。
- 下レールの切詰めは一次加工です。最終的な長さの確認・切詰めは「エクシオールジーマ 本体編 取付説明書(E430)」または「エクシオールジーマ 軒プラス編 取付説明書(E433)」、「エクシオールジーマ 軒プラスF編 取付説明書(E441)」、「エクシオールジーマ 軒プラスFL / FR / FRL編 取付説明書(E440)」を参照してください。



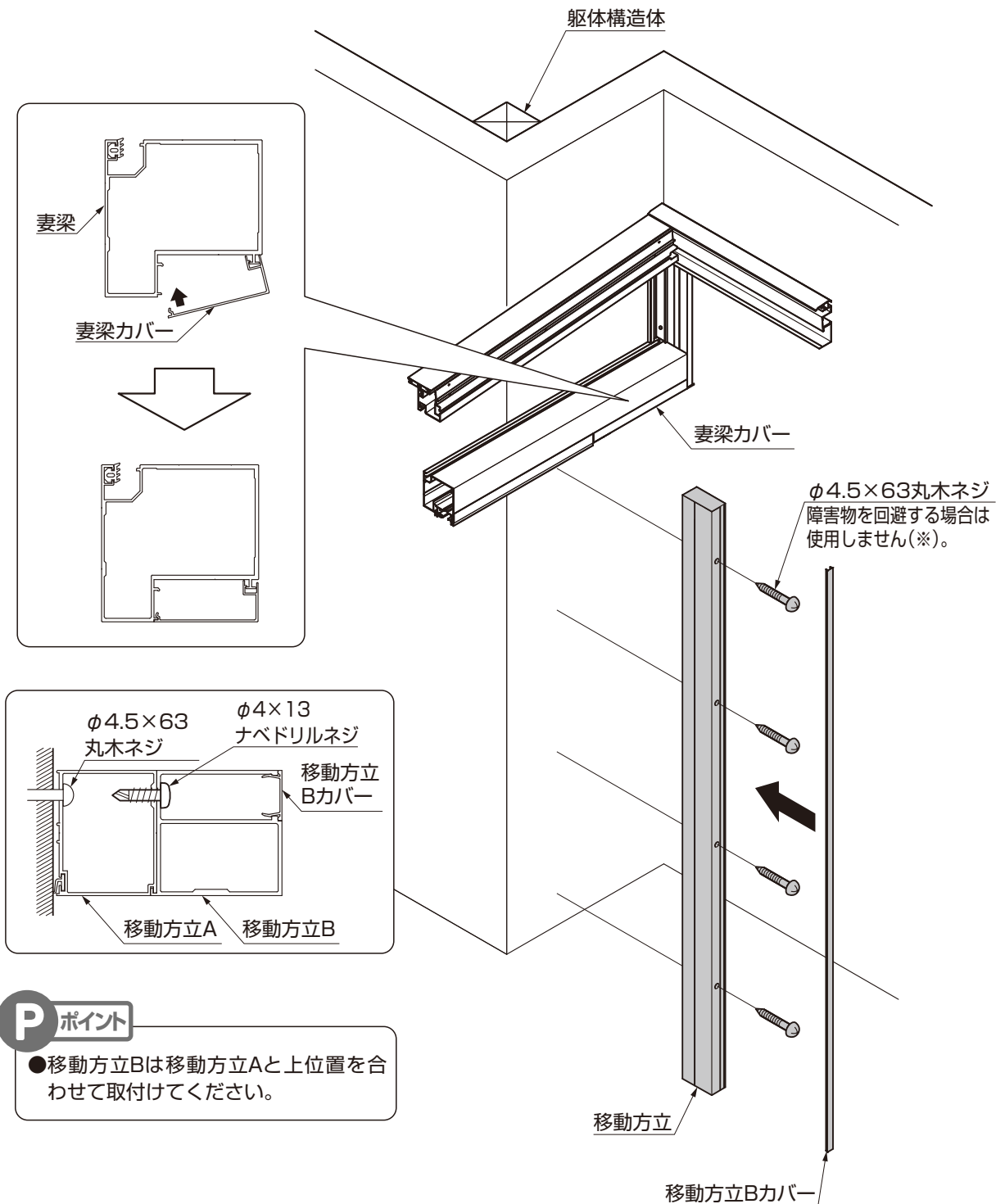
5-2 移動方立の取付け

5-2-1 躯体に固定する場合

- ① 妻梁フタを躯体側の妻梁のフィンに差し込み、横面を当て木をしてゴムハンマー等ではめ込んでください。
- ② 移動方立を躯体構造体に【ネジ】で取付けてください(※)。
- ③ 移動方立Bカバーを移動方立Bにはめ込んでください。

⚠ 注意

- 移動方立Aは必ず躯体構造材に取付けてください。



Pポイント

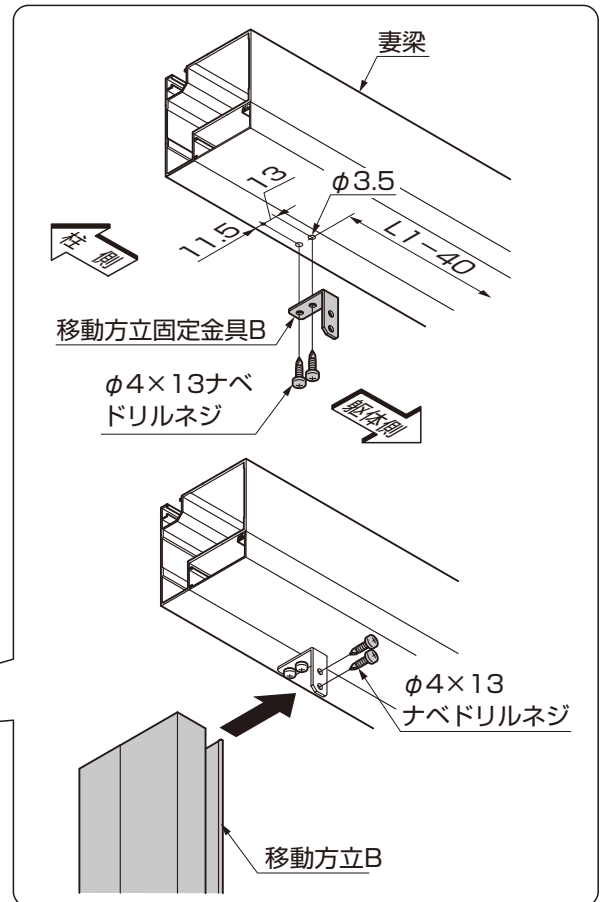
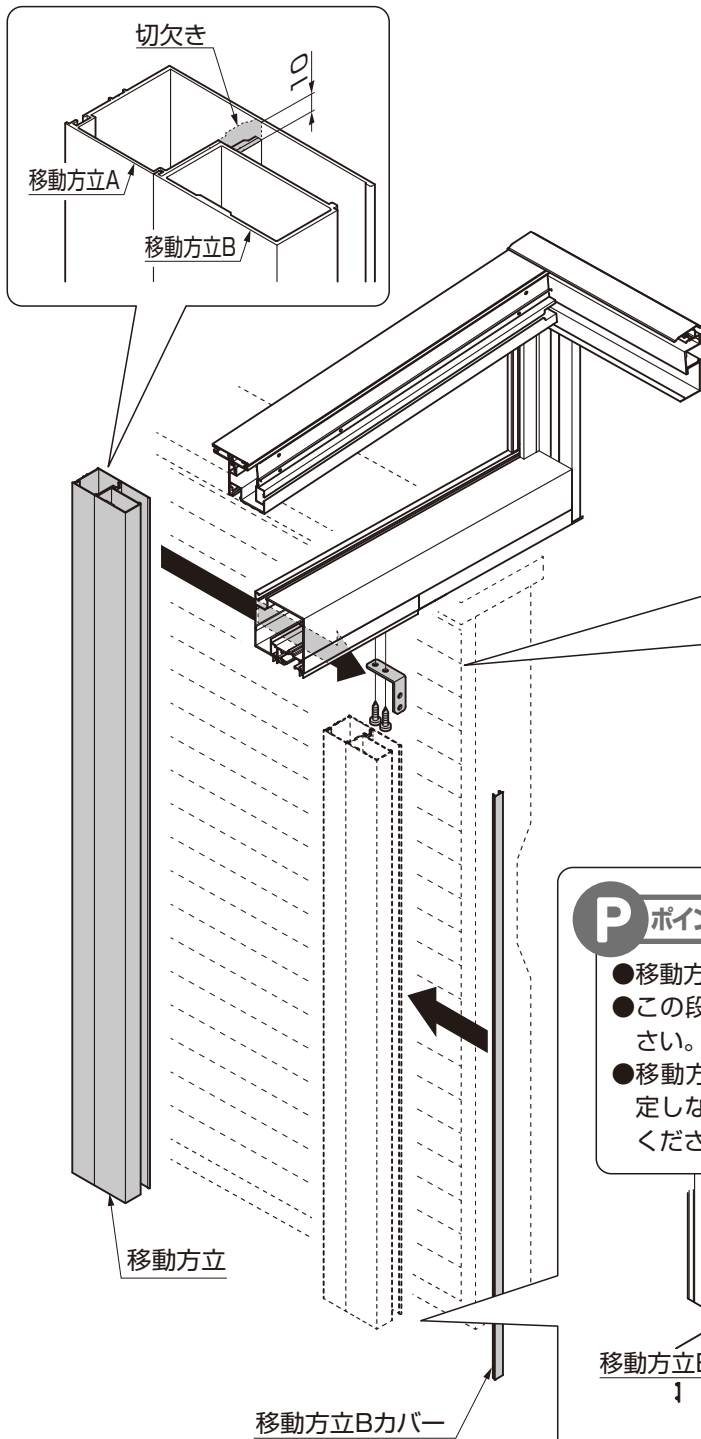
- 移動方立Bは移動方立Aと上位置を合わせて取付けてください。

Pポイント

- 「エクシオールジーマ 本体編 取付説明書(E430)」または「エクシオールジーマ 軒プラス編 取付説明書(E433)」、「エクシオールジーマ 軒プラスF編 取付説明書(E441)」、「エクシオールジーマ 軒プラスFL / FR / FRL編 取付説明書(E440)」を参照し、妻梁上部FIX縦枠の取付けまでの取付けを行なってください。

5-2-2 障害物を回避する場合

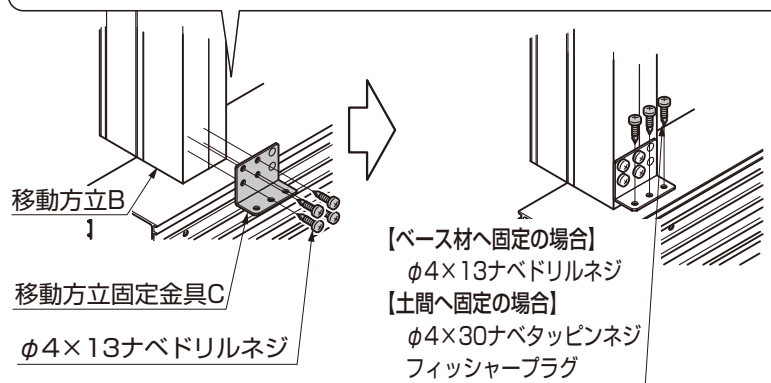
- ①移動方立を切欠いてください。
- ②妻梁に穴加工をしてください。
- ③移動方立固定金具Bを妻梁に【ネジ】で取付けてください。
- ④移動方立を外側から妻梁固定金具Bに当て、【ネジ】で取付けてください。
- ⑤移動方立Bカバーを移動方立Bにはめ込んでください。
- ⑥移動方立固定金具Cを移動方立および床面に【ネジ】で取付けてください。



Pポイント

- 移動方立を埋込む場合は、この手順は不要です。
- この段階では、床への固定は仮止めにしてください。
- 移動方立固定金具Cを取付ける際に、ネジで固定しなかった穴には穴かくしシールを貼付けてください。

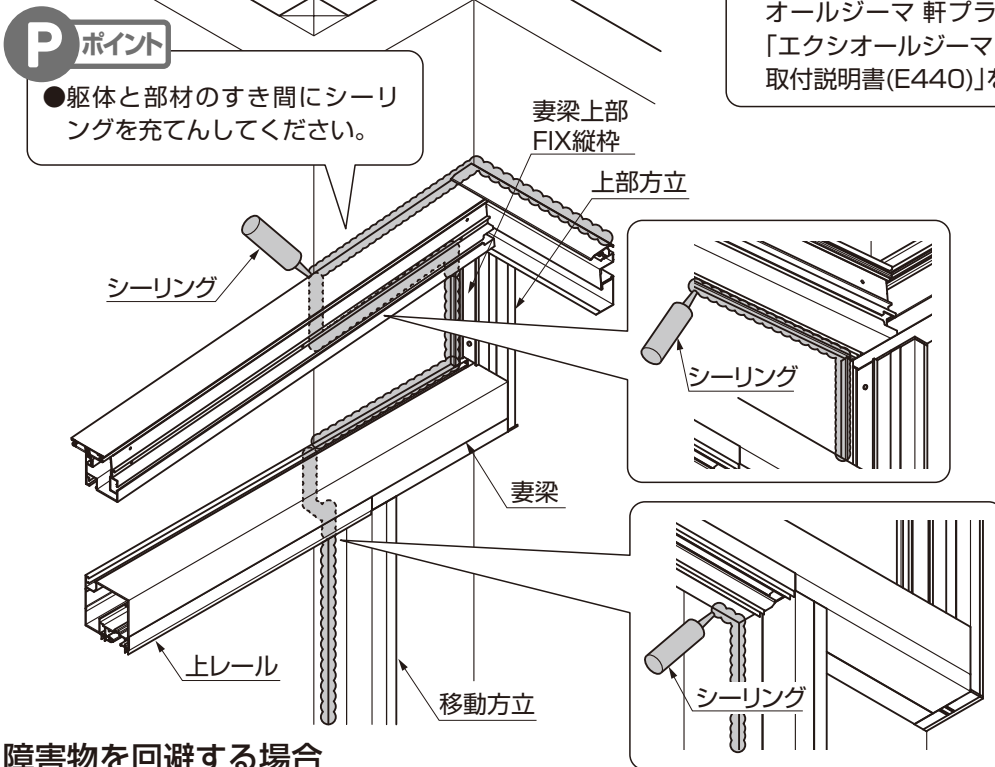
穴かくしシール



5-2-3 仕上げ

(1) 躯体に取付ける場合

- ① 妻垂木フタを取付けてください。(※)
- ② 指定箇所シーリングをしてください。

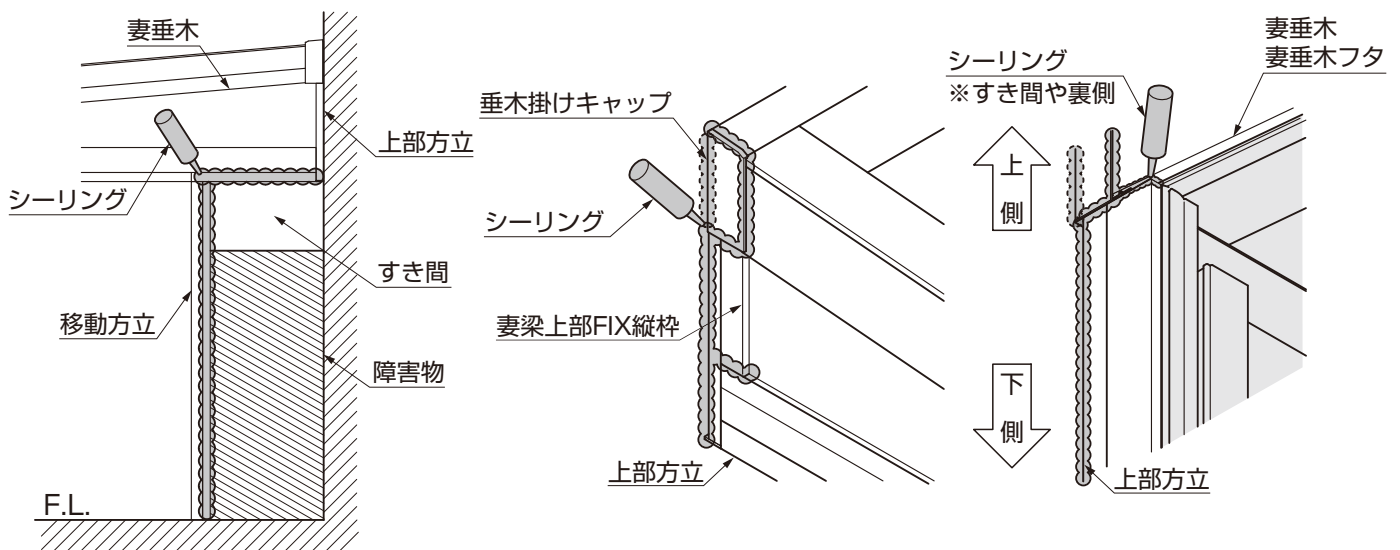
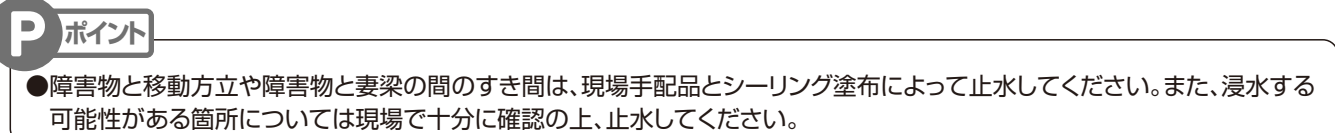


Pポイント

- 指定箇所には必ずシーリングをしてください。
- 妻垂木フタの取付け方法は「エクシオールジーマ 本体編 取付説明書(E430)」または「エクシオールジーマ 軒プラス編 取付説明書(E433)」、「エクシオールジーマ 軒プラスF編 取付説明書(E441)」、「エクシオールジーマ 軒プラスFL / FR / FRL編 取付説明書(E440)」を参照してください(※)。

(2) 障害物を回避する場合

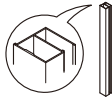
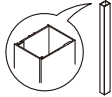

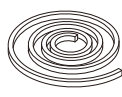
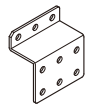
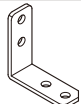
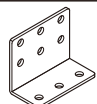
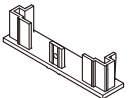
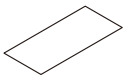
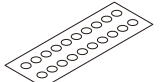






- ① 指定箇所シーリングをしてください。



Pポイント

- シーリング完了後に「エクシオールジーマ 本体編 取付説明書(E430)」または「エクシオールジーマ 軒プラス編 取付説明書(E433)」を参照し、「垂木フタ、妻垂木フタの取付け」以降を行なってください。

6 梱包明細表

移動方立			
名称	略図	員数	
		右	左
		8LFH11□□	8LFH12□□
移動方立A		1	1
移動方立B		1	1
移動方立Bカバー		1	1
すき間隠し材		4	4
移動方立固定金具A		1	1
移動方立固定金具B		1	1
移動方立固定金具C		2	2
上部方立キャップ		1	1
水切りテープ		1	1
穴隠しシール		1	1
φ4×13ナベドリルネジ D=8.2		8	8
φ4×16サラドリルネジ D=6		12	12
フィッシャープラグ S6		4	4
M4×12十字穴付き六角ボルト		4	4
φ4.5×63丸木ネジ		8	8
φ4.1×32丸木ネジ		4	4
エクシオールジーマ 移動方立 取付説明書 (E427)	-	1	1

取説コード

E427

JZZ631843A
201609A_1049
201705B_1049